湘南白百合学園中学高等学校

担当教諭:小川 惠

対象生徒:高校2年生 コミュニケーション英語Ⅱ(72名)

実施期間:2021年10月末~11月

週1回(各5~10分)

授業の概要:

このコミュニケーション英語 II の授業では、教科書の内容とは別に、時事英語を扱う帯活動を週1回年間を通じて行っている。授業担当が、海外のメディアの記事を選び、以下の目的を持って授業を展開する。これまでは、CNN、BBCのニュース動画・記事を主に扱ってきたが、今期間はAFP World Academic Archivesを使って実施した。今期間はCOP26の開催期間であったため、関連のニュースを連続して扱った。環境活動家のグレタ・トゥーンベリなど生徒と同世代の若者の活動の様子も取り上げた。

授業の目的:

- ①言語活動(知識・技能)において
 authentic Englishでニュースに触れ、その文脈で語彙を習得する。特に音声に注目し、聴いて音読を繰り返す
 ことでoutput, input量を増やす。
- ②思考力・表現力・論理力において global issuesと同世代の若者の活動を理解し、自分ごととして考え、ペアワークで意見交換もする。同ニュースの日本での扱われ方の違いも意識する。
- ③将来につながる学びに向けて 社会の多様さに触れることで、自分の興味関心がどこに向かうのか、何に取り組みたいと思うのかを発見する。

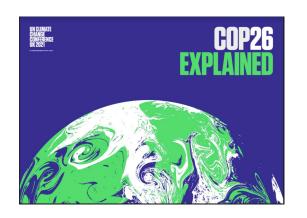
授業形式:

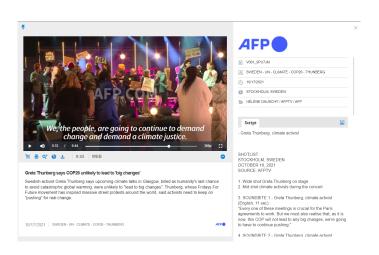
時事英語帯活動(10分間)

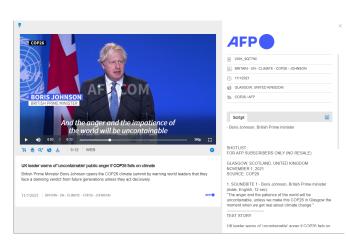
- 1 ニュース動画(英語字幕付き)を電子黒板で観る
- 2 (本文が短い場合)繰り返し動画を流し、字幕を見ずにディクテーションする
- 3 時事英語語彙(キーワード)について補足説明
- 4 繰り返し動画を視聴しながらシャドーイングをした上でペアで速読する
- 5 内容についてペアで確認、意見を交換する

活動内容:

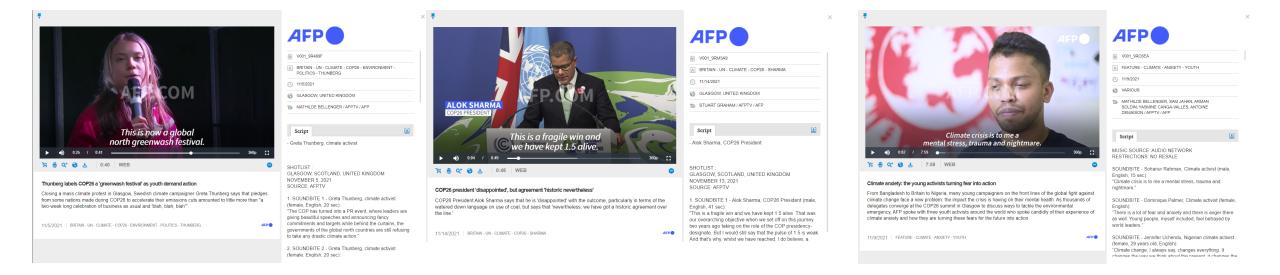
- ① COP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)とは何かについて 事前課題として、主催者ホームページ(英語)に行き、資料を読む。
- ② ペアワークパートナーとCOP26についての情報を共有し、ショートディスカッション。
 Greta Thunberg says COP26 unlikely to lead to 'big changes'(2021/10/17)のAFPTV視聴キーワード語彙の確認とペアで音読とショートディスカッション。
- ③ UK leader warns of 'uncontainable' public anger if COP26 fails on climate(2021/11/01) のAFPTV視聴、キーワード語彙の確認とペアで音読とショートディスカッション。







- ④ Thunberg labels COP26 a 'greenwash festival' as youth demand action(2021/11/05) のAFPTV視聴、キーワード語彙の確認とペアで音読とショートディスカッション。
- ⑤ COP26 president 'disappointed', but agreement 'historic nevertheless(2021/11/14)
 のAFPTV視聴、キーワード語彙の確認とペアで音読とショートディスカッション。
- ⑥ Climate anxiety: the young activists turning fear into action(2021/11/09)のAFPTV視聴。 通常より長い動画のため、テキストも配布する。特に心に残った部分についてペアで意見交換 する。



授業での生徒の様子の振り返りと今後の課題:

・良かった点

言語活動面

AFPの動画には字幕とテキストもついているため、中には英語を話すスピードも速く1回の 視聴では全部理解できないものもあったが、その場で確認し理解することができた。

1回のニュースが端的にまとめられているため、短時間でも記憶に残りやすく取り組みやすい分量だった。

文脈をわかりつつ音読することで臨場感のある英語を話す達成感も得られた。

climate crisis, climate justice, greenwashなど新しい表現に一早く触れることができた。

World Englishes(様々な英語)に触れることができた。

思考力・表現力・論理力の面

起こっていることを時々刻々と追うことで継続的に関心を持ち続けることができた。 世界中の多くの同世代の若者が環境問題を真剣にとらえ活動している熱意と実行力に刺激を 受け、自分にもできることや日本では誰がどんなことをやっているのだろうかと追求する姿勢 が見られた。

将来につながる学びに向けて

特に⑥においては、環境活動とメンタルヘルスの関係を知ることによって、日本でも似た ケースがある、また、環境問題とは国レベルだけではなく、個人の問題でもあるのだという 視点に触れ、今現在自分が関心があることとの関連も考える機会になった。

その他

AFP World Academic Archivesが動画・画像・テキストが豊富に絶えずアップデートされる「信頼できる情報源」であり、本校はICT環境が整っているため、すぐに教室で使うことができ、生徒との共有もGoogle for educationを使ってできたため、相乗効果として従来よりも即時性の向上と負担軽減ができた。

・ 今後の課題

短時間の帯活動のため、生徒が題材を自由に選び、じっくり考えを深める時間、プレゼンテーションなどのアウトプット活動に繋げる時間がなかったので、それを取り入れた年間カリキュラムを作成し取り組んでみたい。